



Fun = 楽しい  
自分たちが笑顔で働き、日々新しいことにチャレンジしている社員の姿、イキイキ楽しんでいる広研印刷を知って頂きたく、CI委員会ではブログと、このPR誌、『FUN』を通して情報発信しています。

楽しい企画を創造するには、まず自らが楽しくなければ、お客様を楽しませることもできません。『楽しい』は価値であり、価値を生む原動力でもあります。『楽しい』から生まれる創造にご期待ください。  
『お客様に安心と満足をお約束し感動をお届けする』

ことを目指します』広研印刷の経営理念です。スポーツ選手でも芸術家でもない私たちがお客様に感動していただけるにはどうしたらいいのかは日々考え行動し、新しい感動を創造していきます。  
河野

C I  
Corporate Identity

# FUN

no.3  
Corporate Identity  
2023

2023年3月8日

こんにちは、CI部員の辻です。

先日、池袋・サンシャインシティで開催された

「としまMONOづくりメッセ」

に参加してきました！

としまMONOづくりメッセとは、主に区内のものづくりにかかわる企業や個人が製品や技術を発信して地域活性化につなげる、そして区民に地域の産業を知ってもらうことがねらいのイベントです。2020～2022年は中止となっており、今回3年ぶりの開催となりました。

広研印刷は毎年「東京都印刷工業組合豊島支部・豊島区印刷関連産業団体協議会」のブースの制作を手がけており、3月2日から4日の開催期間のうち、私は4日にスタッフとしてお手伝いに行ってきました。



80を超えるブースが並ぶ会場中央付近に、かわいらしいウサギをモチーフにした楽しいブースができていました。



なんと会場アンケートの投票で準グランプリを受賞したようです。



メインの企画は、無料ですぐできる写真入りカレンダーづくりです。

写真撮影～PCで調整してプリンタで出力～台紙にセットしてお渡しまでが約5分と、とってもスピーディーな印刷体験ができます。



## としま MONO づくりメッセが 3年ぶりに開催！



スタッフの役割はカメラ、データ制作、お渡しする係などがありましたが、私は主に呼び込みをしていました。

お天気に恵まれた土曜日とあって、ご家族やご友人同士、幅広い年齢の方々がたくさん来場されていました。

隣ではサブ企画として、フォントメーカーのモリサワさんが輪ゴム銃を使った射的のコーナーを展開していました。

木材と金具でできた本格的な輪ゴム銃で、大人も思わず盛り上がりしてしまうコーナーでした！



兔年にちなんだ今回のカレンダーやプー

スの装飾デザインを手掛けたのは、CCKの能見さん。今回で3回目の参加とのことです。カレンダーは月ごとにウサギの絵柄を変えていて、細部までかわいいが詰まったデザインになっています。

お昼から終了の時刻までほとんど途切れずにお客さんが来てくださり、ときどきは2、3グループ待ちになるほどの大盛況。

弊社の社長もここではいちスタッフとして戦力になっています。16時に終了のアナウンスがあり、てきぱきと片付けをして撤収となりました。日ごろの運動不足がたたって翌日は足が痛くなりましたが、たくさんの方に喜んでいただけて、たまにはこういうイベントに参加するのも



いいなぁと感じました。少しずつイベントの開催制限も緩和されてきて、にぎやかに人が楽しんでいるとそれだけでなんだか嬉しい気持ちになります。



来年も無事に開催されたら、ぜひ遊びにきてくださいね。



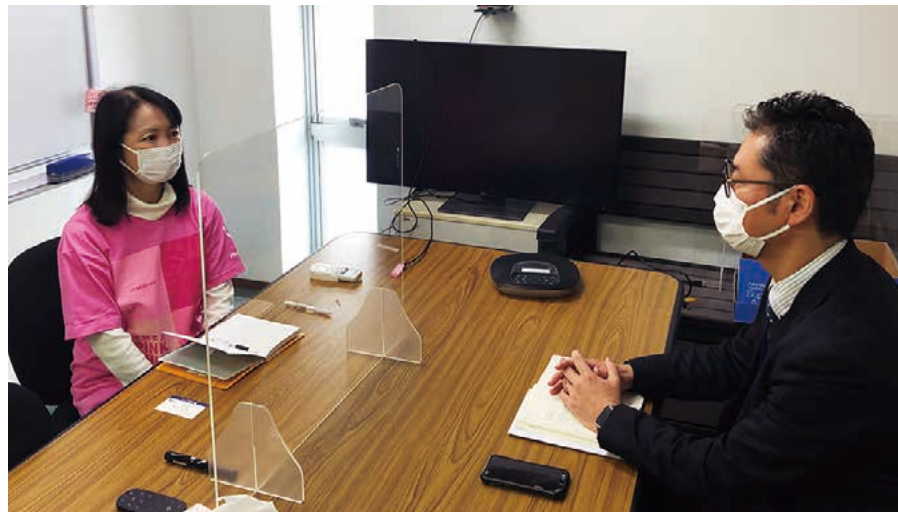


# ピンクシャツデー

## ●ピンクシャツデー

こんにちは!CI委員会の小川です。  
今回は、日本YMCA同盟 高田様に「ピンクシャツデー」について、取材をしてみました。広研印刷ではポスター、チラシ、Tシャツを作成させて頂きました。  
小川:「ピンクシャツデー」の概要について、お話を聞かせて頂けますでしょうか?  
高田様:「ピンクシャツデー」とは、2007年カナダから始まったいじめ反対運動です。今では、約180か国でピンクシャツデーがSNS等を通して広まりました。日本では2014年ぐらいに横浜YMCAからスタートし、

徐々に全国に広がり、力を入れてきた事業の一つです。  
小川:今年はポスター、チラシだけでなく、Tシャツを作成した経緯を教えてください。  
高田様:コロナ禍もありしばらくTシャツ作成は出来ませんでしたが、今年はようやく作成することができました。今後はステッカー等、ピンクシャツデーの普及に繋がるツールを増やすと共に、使い方も工夫していきたいと思っています。  
また、「いじめ」をなくすための勉強会等にも参加したので、そこで学んだことを活かしていきたいと思っています。



小川:進行面での弊社の対応は、いかがでしたか?  
高田様:今回、初めてこの事業の担当をしたので、多少不安はありましたが、まめにスケジュール等の連絡や品質に対しても色々アドバイスを頂き、ポスター、チラシ、Tシャツのクオリティが保たれたことに感謝しております。  
また、発送作業に関しても、仕分作業から対応して頂き大変助かりました。

小川:ありがとうございます!  
来年も普及のためのツール制作にご協力したいと思いますので、今後とも何卒宜しくお願い致します。お忙しいところ取材にご協力頂き、誠にありがとうございました。CI委員会でもTシャツを着て、日本YMCA同盟様のFacebookに投稿して頂きました。



モルックの道具  
・モルック  
投げる方の「棒」のことをモルックといいます。下手投げで行うのが基本です。

・スキttl  
木製のピン(まど)モルックを投げてスキttlを倒します。



この場合は得点が2点になります。11番が完全に倒れてないため。



上手く当ててスキttlを広げるのも戦略です。上手い人はここまで離れました。

## ●モルックをやってみました!

こんにちは横山です。  
コロナ禍で運動不足の解消や、今年の新しいコト挑戦企画の一つとし、BABABASEを利用して『モルック』をやってみました!  
モルックは、フィンランドの生まれの棒を投げてピンを狙う棒倒しのスポーツです。

### モルックの魅力

・合計得点を計算しながらするスポーツなので頭も身体も動かし!  
・戦略がキモで、チームで戦略を立てて行く



のが面白い!  
・老若男女誰でもできる!

### [ルール]

3.5m離れた場所からモルックを投げて倒れたスキttlの内容によって得点を加算していき、先に50点ピッタリになるまで得点した方が勝ちです。50点を超過してしまうと25点へ減点されゲームは継続されます。ピンに当てる感じは『ボーリング』、要求される精度は『ダーツ』に似てると僕は感じました。一見単純そうでも、様々な要素が取り入れられている奥が深いスポーツだと思えます。スキttl(木製のまど)を1本のみ倒したらその点数が加点されます。2本以上倒した場合は倒した数を加点します。完全に倒れてない場合は加点しません。倒れたスキttlは倒れた位置で再度立て直してスタートします。

### モルックをやってみた感想

狙ったスキttlに当てられたとき、最高に楽しかったです!本当に誰でもみんな楽しんでるスポーツだと思いました。



みんなでスキttlの位置を決めるのも楽しい...w

今後の広研モルック活動の意気込み!  
社長にご相談して...広研印刷の正式な部活にしてもらえるように頑張ります!  
またもっと上手くなって、いつかはみんなで試合に出場できたら嬉しいと思います!



## 2023 は●●にチャレンジ!!

CI委員長の小川です。  
2~3月は印刷業界の繁忙期で、広研印刷も毎年この時期に多くのお仕事をいただきます。慌ただしい中でも品物がお客様のお手元に無事届くように、営業はもちろん、オペレータや生産管理も一丸となってそれぞれの業務に集中します。そんなわけがなかなかブログに書いていませんでしたが、ここで改めて今年のCI委員会の活動方針について書きたいと思っています。1月頭には「今年やってみよう」というテーマでプレストを行い(企画案出しのプレストやってみた | 広研印刷 CI委員会ブログ (kohken-l-p.co.jp))、その後第1回のミーティングで活動方針を話し合いました。ミーティングでは、「どうやったら自分のやりたいこととお客様を喜ばせることができるか?」という目線で企画を考えることになりました。近年、広研印刷では既存の印刷業務に限らず、ノベルティ・WEB・動画などの分野でさまざまな業界のお客様にアプローチしようという試みをし

ています。CI委員会では今後、メンバーそれぞれのやりたいことを元にみんなで楽しい企画を立て、お客様(になってくれるかもしれない誰か)と仲良くなる!という方針で活動していきます。スローガンは「●●にチャレンジ!!!」です。まずは皮切りに横山君の「モルック」企画がすでに始動しています(モルックをやってみました! | 広研印刷 CI委員会ブログ (kohken-l-p.co.jp))。私も委員長として自ら体を張って、色々なスポーツやレクリエーションにチャレンジしていきたいと思っています。「足踏み60秒動画」にチャレンジ中(近期中に企画公開予定!)応援よろしくお願ひします!!

